

私立大学図書館協会 2015 年度西地区部会第 3 回役員会議事要録

1. 日時：2016 年 3 月 4 日（金）10:55～12:00
2. 場所：東京ガーデンパレス 3 階「平安の間」
3. 出席：9 校 20 名

役員名称	大 学 名	職 名	氏 名
会長校	東洋大学	図書館長	青木 辰司
		図書館事務部長	千葉 信一
		主任	高橋 紀之
監事校	立命館大学	学術情報部次長	近藤 茂生
		図書館管理課長	谷口 心也
東海地区理事校	名古屋学院大学	課長	中田 晴美
京都地区理事校	大谷大学	事務部長	滝川 義弘
		図書・博物館課長	山内 美智
阪神地区理事校	甲南女子大学	事務長	柴山 晴江
		主任	中岡 妙子
中国・四国地区理事校	就実大学・就実短期大学	図書館長	柴田 隆司
		図書館事務室長	能勢 常生
		図書館事務室長代理	黒瀬 知子
九州地区理事校	沖縄国際大学	図書課長	金城 智子
		図書課長補佐	山城 篤男
次年度総会当番校	福山大学	事務長	桑田 成年
部会長校	福岡大学	図書館長	有岡 律子
		事務部長	井口 紀子
		課長	谷口 義和
		課長補佐	棚町 俊寛

議事に先立ち、部会長校 福岡大学図書館長 有岡律子、会長校 東洋大学図書館長 青木辰司から挨拶があり、引き続き、出席者全員が自己紹介を行った。議長は、部会長校 福岡大学図書館長 有岡律子が担当した。

## 議事

### I 報告事項

#### 1. 2015年度西地区部会会務報告（2015年8月～2016年2月）

部会長校 福岡大学（井口）より、配付資料（pp.2～3）に基づき報告があった。会務報告の中で、山口東京理科大学図書館（中国・四国地区）、成美大学メディアセンター（京都地区）、四国学院大学図書館（中国・四国地区）の3大学から脱退届が提出されたため、現時点において2016年度の加盟校予定数は259校となるとの報告があった。また、2018年度の西地区部会研究会は、四国学院大学を代表当番校として四国大学、高松大学との3校による共同開催が予定されていたが、代表校の脱退に伴い、四国大学と高松大学2校での共同開催となること、資料（p.29）の2018年度研究会当番校名が四国大学に変更されていることが補足された。

#### 2. 2015年度予算執行状況報告

部会長校福岡大学（井口）より、2015年2月末現在の予算執行状況について、配付資料（p.4）に基づき報告があった。なお、報告の際に支出の部の科目名「前年度繰越金」から「次年度繰越金」への修正依頼があった。

#### 3. 2015年度各地区協議会会務報告および各地区協議会研究会報告（2015年8月～2016年2月）

東海地区：東海地区協議会理事校 名古屋学院大学（中田）より、配付資料（pp.5～6）に基づき報告があり、今年度の残りの事業は「館灯」という協議会誌の発行である。また、東海地区では、研究会2回、見学会と実務担当者研修会を隔年で実施し、役員館の業務負担が大きくなってきている。さらに、私立大学図書館協会だけでなく、国公立大学で構成された東海地区大学図書館協議会へも加入しているので、両協議会の活動へは相互協力して役員校の負担軽減になるように今後検討していきたいとの報告があった。

京都地区：京都地区協議会理事校 大谷大学（山内）より、配付資料（pp.6～8）に基づき報告があった。報告の中で秋季の総会と第2回研究会を午前午後に分けて同日に開催し効率的に運用していると補足があった。京都地区では、以前、多種多様の研究会を開催していたが、当番校等の負担が大きいため最近では年2回開催に落ち着いている。東海地区と同様に近畿エリアの国公立大学図書館で組織される研修会を主体にした協議会に阪神地区と共に加入している。研修会等への参加は任意であるが、各館が多様な研修会等に参加できる仕組みになっている。

阪神地区：阪神地区協議会理事校 甲南女子大学（柴山）より、配付資料（pp.8～10）に基づき報告があった。記載の他に 事業報告として、研究会を2月17日、兵庫医療大学で、総会を2/26甲南女子大学で開催しているとの報告があった。阪神地区での話題では研究会を活性化したいということで、研究会開催の内規が詳細ではないので、内規を作成して研究会を開催する際は補助できるように検討している。また、阪神地区の役員校・当番校（pp.29）では他の地区より記載が少なく遅れている

のは、2年毎に入学生調査を実施して輪番制を決めているからとのことであった。

中国・四国地区：中国・四国地区：中国・四国地区協議会理事校 就実大学（能勢）より、配付資料（pp.10～11）に基づき報告があった。部会長校から会務報告された脱退届について触れられ、四国学院大学の脱退は、経費面と人員面から大学としての判断が為されたということであった。それには2018年の研究会当番校としての負担も大きいと考えられる。四国学院大学は、以前より地区の基幹大学として活動されてきており、その脱退は大きな衝撃であった。中・四国地区は規模の小さい大学が多いので、担当校の負担軽減に努めなければならない。今後、地区総会において、結束を強めて事業の推進を図り、研究会当番校も複数の大学が協力することで担当校の負担を軽減していけるような体制作りを検討したいとのことであった。

九州地区：九州地区協議会理事校 沖縄国際大学（金城）より、配付資料（pp.10～12）に基づき報告があった。その中で、次年度の9月の開催される研究会について案内があり、沖縄大学で九州地区協議会の研究会を開催するが、例年、九州地区の国公立大学及び私立短期大学図書館に案内文書を出しているが、開催地が沖縄県ということで参加者数減が見込まれると心配している。2016年6月の幹事会で実施要項案が決定されれば九州地区のホームページで公開するので、他地区から参加希望があれば直接、沖縄大学図書館へ連絡をとってほしい。参加については沖縄大学で検討するとのことであった。

#### 4. 2015年度私立大学図書館協会会務報告（2015年8月～2016年2月）

会長校 東洋大学（千葉）より、協会会務、委員会会務および協会関連事項について、配付資料（pp.13～23）に基づき報告があった。その資料で西地区での脱退校の記載について、四国学院大学を追加して3校となり、2016年度の加盟校予定数も259校になるとの修正依頼があった。また、脱退については次年度の会費納入に関係するので、3月31日の日付で手続きするようとの要請があった。

## II 協議事項

### 1. 2016年度西地区部会事業計画（案）および予算（案）について

部会長校 福岡大学（井口）より、2015年度西地区部会事業計画（案）および予算（案）について、資料（p.24）に基づき提案があった。予算案の説明で、収入の部 前年度繰越金の予算額と資料（p.4）の2015年度予算執行状況報告の支出の部 次年度繰越金の決算見込額とが異なることへの質問があった。この件については、資料作成のタイムラグによるもので、最新の金額をベースに作成した予算案には、発生した預金利息分が加算されている可能性があるとの発言があり、確認して改めて議事要録で説明を行う（※）ことが付言された。事業計画（案）、予算（案）とも審議の結果、承認された。

※ 確認の結果、p.4の予算執行状況報告が2月上旬に作成されたのに対して、p.24の予算案は脱退届の提出を待って、次年度の加盟校数を確定した上で最新の数字で作成したため、2月下旬時点での数字となっていることがわかった。前者の資料作成後に、銀行の預金利息が発生し、雑収入が増えたことにより繰越金額に違いがあったことが判明した。

### 2. 2016年度予算の暫定執行について

部会長校 福岡大学（井口）より、標記の件について配付資料（p.25）に基づき提案があり、審

議の結果、承認された。

2016年度予算が承認されるのは、2016年6月17日（金）に福山大学で開催される西地区部会総会においてである。したがって、2016年4月1日以降6月17日までの部会活動については、2016年度予算額の範囲内で暫定予算として執行する。なお、この件は、4月1日付文書にて西地区部会長校より、西地区加盟校に通達される旨、併せて説明があった。

3. 2016年度西地区部会総会開催概要（案）について

総会当番校の福山大学（桑田）より、配付資料（p.25）に基づき提案があり、総会概要案は了承された。

4. 2016年度西地区部会研究会開催概要（案）について

部会長校 福岡大学（井口）より、配付資料（p.26）に基づき提案があり、研究会開催概要案は了承された。

5. その他

なし

III 承合事項

なし

IV 確認事項

1. 2016・2017年度西地区部会役員校について

部会長校 福岡大学（井口）より、配付資料（p.27）に基づき説明があり確認した。

2. 2016・2017年度西地区部会当番校について

部会長校 福岡大学（井口）より、配付資料（p.27）に基づき説明があり確認した。

3. 2015年度西地区部会関連行事日程について

部会長校 福岡大学（井口）より、配付資料（p.28）に基づき、説明があり確認した。

4. その他

なし

V その他

なし